

東日本大震災への支援 緊急の広域連合委員会開催

平成23年3月11日 東日本大震災発生

3月13日 支援対策に係る緊急声明(第1次)を公表

関西のもてる力を結集し、現地のニーズに応えつつ、
被災地・被災者支援に取り組む。

被災地対策

支援物資等の提供

応援要員の派遣

避難生活等の受け入れ

カウンターパート方式による支援の

枠組みを構築

現地連絡所の開設を決定



[緊急の広域連合委員会]

3月29日 支援対策に係る緊急声明(第2次)を公表

支援の輪が全国的な展開となることを期待しつつ、支援を積極的かつ
継続的に実施する。

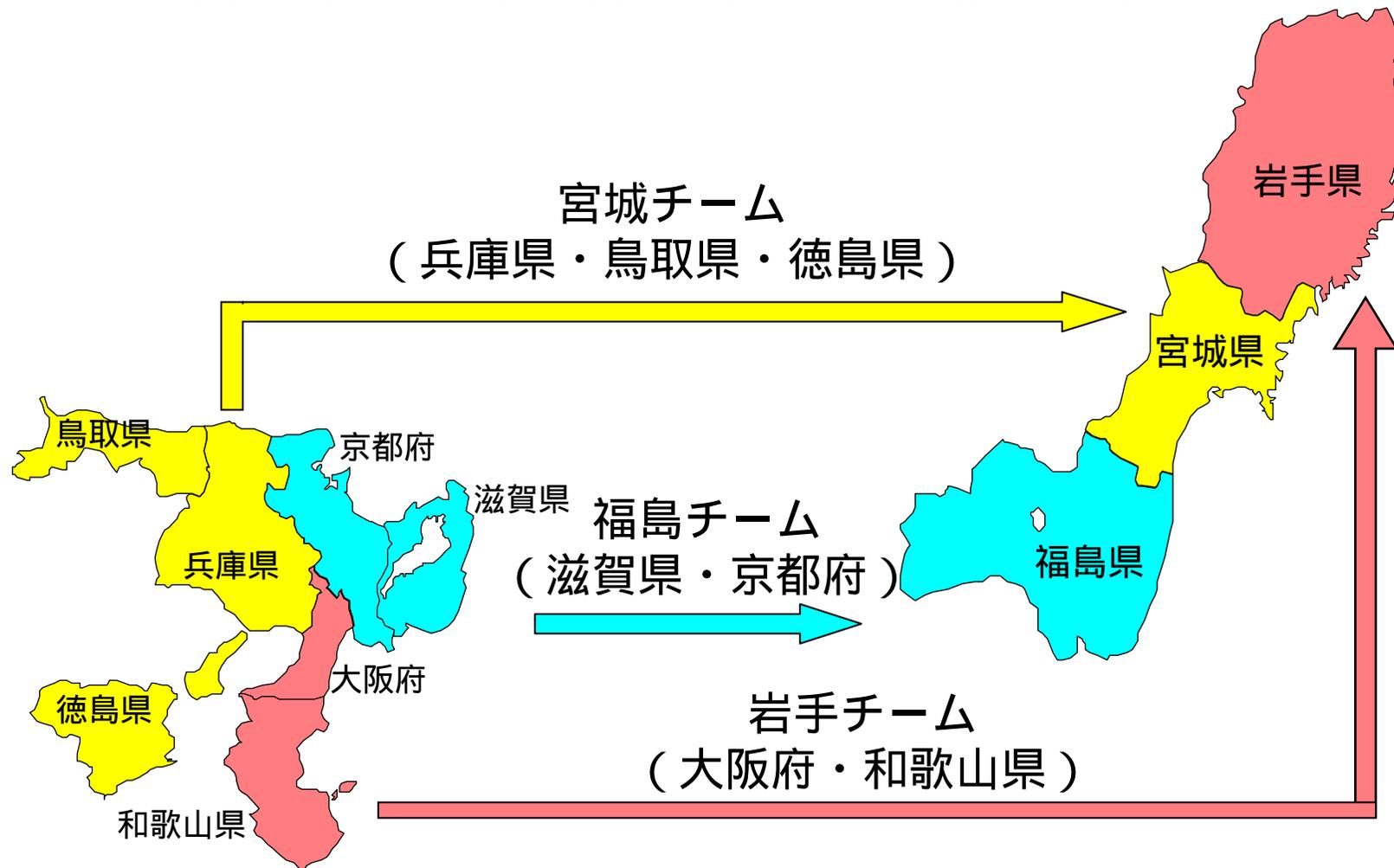
被災県・市町村への応援要員の派遣

阪神・淡路大震災の経験や教訓を生かした助言・指導

被災者受入体制の充実

カウンターパート方式による支援

広域連合による調整のもと、構成団体ごとに担当する被災団体を決定
迅速かつ機動的で継続性を持った責任ある支援を実施



支援内容

物資の送付(平成23年度末までに実施済)

アルファ化米(約26万食)、飲料水(約46万本)、毛布(約64千枚)、簡易トイレ(約21千基) など

職員の派遣(平成26年1月31日現在)

累計 165,400人・日 190人/日 ピーク時387人/日

警察、消防、DMAT、市町村職員を除く。

短期派遣(1週間程度) 専門職の中長期派遣(半年～1年)

避難者の受入れ(平成26年1月31日現在)

3,755人(公営住宅等)



[現地事務所]



[救援物資]



[保健師の活動]